

1. 輸出3年以内に倍加＝財務大臣発

財務大臣 AMA ムヒスは、市内のラディソン・ウォーター・ガーデン・ホテルで行われた「第5回 HSBC 輸出エクセレンス・アワード」の授賞式で、「早急な経済発展には輸出を中心とした成長が一番」と強調し、「ここ5年間でわが国の輸出は倍になり、これはこれからの3年間でそれがまた倍になるであろう。政府は迅速な輸出成長のために作業を進めている」と語った。この受賞式で Bangladesh 銀行の総裁は、「数年にわたり、わが国の輸出業者は Bangladesh のために貢献してきた。国内からの主要な投資が欠けていたにも拘らず、2013-14年度は11.69%の成長を示した。わが国のアパレル輸出の競争的効率は長続きし、WTO 協定の中で栄え続けた。そしてアパレルに続き、明るい展望つまり輸出品目が靴、革製品、セラミックス、薬品、冷蔵庫や家庭用品を含めた光工学製品、園芸製品、加工食品、漁業、工芸品、船舶、IT サービスなどのようなアパレル以外の製品の輸出上昇に伴って多様化されてきた。わが国の造船及び光工学製品は既にグローバル輸出市場に参入している。その上、Bangladesh 銀行と JICA との間で RMG 産業のリハビリのために10億円の了解覚書が署名された」と報告した。

2. 送金額、4か月間で12%強アップ

国外在留の Bangladesh 人は、2014-15年度の最初の3ヶ月間で50億5700万ドルを Bangladesh に送金した。これは昨年度の同期に比べると12.21%上昇している。Bangladesh 銀行の最新のデータによると昨年度の同期の送金の総金額は45億110万ドルであった。Bangladesh 銀行のその筋によると10月だけで Bangladesh に10億1700万ドルの送金があった。統計によると国営の4つの銀行で3億2230万ドルの送金を取り扱った。そしてわが国の商業銀行が6億6420万ドルの送金を取り扱い、9つの外国の銀行を通して1千万ドルの送金があった。それに付け加え、専門銀行も1400ドルの送金を取り扱った。10月にはイスラミ銀行が2億6660万ドルの送金を取り扱い先頭に立ち、それに続きアゴラニ銀行1億1900万ドル、ソナリ銀行9960万ドル、ジョナタ銀行9400万ドルと続いた。

3. Bangladesh 経済は安定＝IMF 評価

国際通貨基金(IMF)チームは、「Bangladesh の全体的な経済状態は“安定”している。これからの経済も“堅固”な状態を続ける。財政部門はとても強力である。Bangladesh は6.2%の成長を達成しようとしていて、インフレも低下している」と報告した。さらにIMFチームは、「これらは、Bangladesh 銀行総裁アティウール・ラハマンが、経済状態を全体的に安定させるように様々な政策を取ったことや、政府が RMG(既製服縫製)工場でのセキュリティーや職場環境向上のためステップを取ったことの結果である。また政府は経済指標を向上させ、経済を安定させるために様々な改革をした」と報告している。

4. 対米向け輸出、収入減少

Bangladesh 商品の最大の輸出先アメリカからの輸出収入は、現在の会計年度第一4半期(7月-9月)にアメリカ市場に輸出できる商品があまり輸出されなかったため、8.42%減少した。今年度(2014-15)第一4半期(7-9月) Bangladesh からアメリカへの輸出は総額13億4313万ドルであった。昨年度(2013-14)の同期は14億6665万ドルであった。2015年度の3ヶ月の数字はわが国の輸出総額の17.45%を示している。輸出推進局(EPB)の統計によると、この3ヶ月間のアメリカへの主な輸出は織物衣料(9億1122万ドル)、ニットウェア(3億3900万ドル)冷凍海老(474万ドル)ホーム・テキスタイル(2385万ドル)そして帽子(1099万ドル)となっている。この期間、わが国の織物衣料輸出の総額のうち30.76%、それに続きニットウェアが10.37%アメリカ市場に参入した。2013-14年度のアメリカからの輸出収入は2012-13年度の54億1960万ドルから上昇し、総額55億8362万ドルであった。

5. 10月度輸出、7.6%減少

輸出推進局のデータによると、10月にはアパレル輸出が減速したため1年前に比べ7.63%(19億6千万ドル)減少した。衣料輸出は昨年と同じ月に比べ、3.5%減少し77億6千万ドルとなった。衣料アイテムがわが国の輸出に対する貢献度は80%以上であり、それは輸出全体に影響を与える。BGMEA 会長アティクール・イスラムは、5月からアパレルの出荷が減少しており、それは欧米の小売業者が雑居ビルに入っている工場に注文を出すことに慎重になったことに原因があると見ている。Bangladesh 衣料メーカー及び輸出業者協会のデータによると、Bangladesh の20%の工場が雑居ビルに位置している。イスラムは、「オーナー達が隣接した地域に建設された専門の建物に移転を始めたので、このような工場の数も減少している。生産コストは様々な理由で著しく上昇しているが、それに伴い製品価格は上昇してい

ない。産業ユニットへのエネルギー源の供給は向上したが、ガス不足には今でも苦しんでいる。特に衣料部門の関連企業は、ガス不足で大きな影響を受けている。欧米のクリスマスシーズンで販売が増える11月から輸出が勢いを取り戻すことを期待している。輸出を増加させるために、いろいろな問題を解決するため、効果的なワンストップ・サービスセンターを作る必要がある」と語った。

6. RMG 産業の立ち直り

バングラデシュはラナプラザ崩壊とタズリーン・ファッション工場火災という二つの惨事後、既製服(RMG)部門へ降りかかった困難を克服し、目覚しい立ち直りを見せている。コンプライアンス問題に関しては、工場の99%以上が国際基準を満たした。アコード、アリアンス、ILOそしてバングラデシュ工科大学(BUET)により工場検査が開始されてから、現在に至るまで2,075の工場の検査が終了した。その内、主に雑居ビルに入っている(住宅の中にある工場も存在)23のRMG工場が火災配電建物基準に欠陥が発見され、アコード、アリアンス、その他の団体の要請の後審査会により閉鎖された。BGMEAのアティクール・イスラムは、「危険な工場が1%にも満たないということは、国際社会へのポジティブ・メッセージである。バングラデシュのRMG工場のほとんどが、ラナプラザやタズリーン・ファッションの工場のように危険ではないことを証明した。H&Mの最高責任者(CEO)が安全基準が満たされているかどうか確かめるためにバングラデシュのRMG工場を視察した。工場を検査した後CEOは満足し、3年から4年の間に現在の12億ドルから38億ドルに委託を増加する」と語った。アリアンス、ダッカ事務所の代表取締役メシュバ・ロビンは、「外国のブランドと小売強者による技術検査により、全ての工場がラナプラザとタズリーン・ファッションの状態を反映しているという疑惑が一掃された」と述べた。

7. スペインへの衣料輸出増加

スペイン大使ルイス・テジャダは、ダッカの事務所でジャーナリストたちに、「バングラデシュのスペインへの衣料輸出は、工場の改善で上昇している。ラナプラザビル崩壊の後、わが国は衣料産業を改善するため様々なステップを取った。そのためにスペインの衣料小売業者はバングラデシュから、もっと衣料を購入しようという動きを示している」と語った。

バングラデシュでは、若干の危険箇所を指摘された工場のオーナー達も、既にリフォームのステップを取っており、まだ取っていない工場でも数ヶ月のうちに始めている。中国に続き第2の衣料製品輸出国バングラデシュは、低価格で高品質の製品を供給できるのでスペインからもっと多くの注文を掴むとができる。2013-14年度には我国は15億ドル相当のアパレルをスペインに輸出し、これは1年前に比べ24%増加している。バングラデシュ衣料メーカー及び輸出業者協会からのデータによるとスペインへの輸出全体のうち93%を衣料アイテムが占めている。わが国の最大の輸出相手国である欧州連合は、昨年度総額244億9千万ドルのアパレル輸出のうち60.21%を占めた。

8. ロシアでRMG市場拡大を

バングラデシュの輸出業者は、「ベトナムやインドがアメリカ市場に注目し、バングラデシュを国際市場で立ち遅れさせようとしているので、政府はわが国の輸出収入を拡大するためにロシア市場を探索するべきである。そうすれば衣料製品の輸出のためにロシア市場を探索すると共に、冷凍食品、農業生産品、ジュートや革製品などのような他の品目も輸出する機会をみつけることもできる。情報によると、大量に衣料生産をしている国のひとつベトナムは、アメリカと自由貿易協定(FTA)に署名するために作業を進めている。FTAが提携されれば、ベトナム製品はアメリカ市場に自由にアクセスでき、衣料市場を有利につかみ取ることができる。このように考えれば、わが国のRMG輸出業者たちは、アメリカ市場でのその存在を保つために、アメリカとFTAを提携するように政府に働きかけるべきだ。それに付け加え、政府は強力な輸出を保つために、82億ドルの衣料市場を持つロシアを掴むステップも取るべきである」と語っている。

一方インド政府も協定を結ぶ作業をしていることが明らかになった。もし協定が結ばれたなら、武器以外は免税の下に何でもアメリカ市場に輸出できるようになり、バングラデシュにとってもうひとつの脅威となる。バングラデシュ衣料メーカー及び輸出業者協会(BGMEA)副会長シャヒドウッラ・アジムは、「バングラデシュ政府はロシア市場にも注意を払うべきだ。ベトナムやインドの動きは、アメリカ市場でバングラデシュの位置を奪うものとなるようだ。バングラデシュの輸出業者がスムーズに幅広くロシア市場に参入できるような環境を整ええるために、そのような協定を提携できるよう政府は前進するべきである」と意見を出している。BGMEAデータによると1億5千万人の人口を抱えるロシアは、82億ドルのRMG市場であるが、バングラデシュはその内5%しか占めていない。

9. 下請け縫製工場への政府の責任

下請け縫製工場では、彼らの貧弱な労働条件と安全にも拘らず、秩序ある状態にする効果的なステップがまだ取られていない。このような工場の多くは、バングラデシュ衣料メーカー及び輸出業者協会(BGMEA)でもバングラデシュ

ニットウェア・メーカー及び輸出業者協会(BKMEA)のメンバーでもない。商務省でこのような工場を規制の下に統合する政策の草案を用意しているが、この動きが始まってもう1年以上過ぎているのにまだ決定はされていない。一方、アパレル貿易団体は、この様な工場は系列下ではないので、責任を持つことを拒否している。アライアンスは最近の声明で、「バングラデシュの既製服(RMG)下請工場に対し、元請け工場や貿易団体に責任があるかどうかについて、バングラデシュ政府が決定しなくてはならない」と語った。工場企業のための検査局(DIFE)によると、現在稼働している3,500の工場のうち約800の工場がBGMEAでもBKMEAのメンバーでもない。これらの工場の大部分は中小企業で、大工場の下請けをしている。取引団体BGMEAとBKMEAのどちらのメンバーでもないこれらの工場の状態は、ますます悪くなっている。

DIFE 監察官スエド・アハメドは、「メンバーでない工場は、安全やその他のコンプライアンスだけでなく、賃金や残業手当の支払いの状態も、メンバーである工場に比べると悪い。この件に関し法的プロセスは即座な結果を生み出さない。どちらかの協会のメンバーになるために、オーナーに便宜を図るため相互対話が好ましい」と言っている。BGMEA 副会長 MD シャヒドウッラ・アジムは、「政府がメンバーでない工場に、別のビジネス証書を発行しているの、そこでは関係省庁が責任取るべきである。もし、メンバー工場が下請けをしていれば、BGMEA から適切な内部関係許可書、バイヤーまたはバイイングハウスからの認可、労働者のための義務的団体保険カバーと保険料金の定期的な支払いを含め必要条件を満たさなくてはならない」と言った。専門家と労働リーダーたちは、アパレル取引協会と政府の両方を訪れ、これらの工場がコンプライアンスを直ちに満たすステップを取ることを促し、「工場のほとんどが下請けをしており、政府はこの問題に関して厳しくモニターしなくてはならない。彼らは外国のバイヤーも訪問し、彼らもサプライチェーンに関わり、ビジネスをしているのでその責任を取るべきだ」と呼びかけた。

10. RMG 労働者の住宅難、解決の兆し

バングラデシュ銀行とバングラデシュ衣料メーカー及び輸出業者協会の間で、「中央銀行は利率 2%の政府の住宅基金のもとで寮を建設すれば、コストの 60%を準備する」という契約が交わされた。これにより衣料輸出業者は、労働者のための寮を立てるために 2%の利子で基金を得ることができる。ただしそれぞれの工場のオーナーは残りの金額を支払わなくてはならないし、バングラデシュ銀行関係者によると、寮は工場オーナーの敷地内に建設されなくてはならないことになっている。署名式でバングラデシュ銀行総裁アティウール・ラハマンは、「高い家賃のため、労働者は不潔なスラムや彼らの工場から遠く離れた所に住むことを強いられている。契約のもとではBGMEAは詳細な調査をしたあとで、基金の借業者を選び、保証書を発行する。BGMEAは既に財務省からその活動を拡大するために 20億タカの基金への拠出を求められている。BGMEAは総理府と土地省に寮を建てる為、通常の価格でアシュリアの工業ベルト地帯に 5 エーカーの土地を申請している」と語っている。

政策ダイアログ・センターの兼任研究委員コンドカール・ゴラム・モアッゼンは、「衣料労働者は彼らの賃金の少なくとも 13%を家賃に当てている。多くは 4~5 人の労働者がひとつの荒廃した部屋に住んでいる。家族のある労働者も、家族全員とひとつの部屋で暮らしている。台所、バスルームは他の部屋の人々と共同である。この部門で賃金が引き上げられたが、それと共に住宅経費も即座に上がってしまった。もしこれが実行されれば、この動きはこの部門の 400 万人の労働者が直面している深刻な住宅問題を解決するのを助けることになる」と語った。

11. RMG 労働者のコンプライアンス意識レベルアップのためのソフト開発

RMG 部門における労働者とマネージャーのコンプライアンス意識レベルを上げるために、E-教育プラットフォーム UpSkill がダッカで公開された。そしてソフトウェアのテスト操作の参加者へのフィードバックが、BRAC センター・インで行われた。ソフトウェアは「グローバル・バリュー・チェーン・イニシアティブ」を通して、UKaid の財政援助を受け、グリーン・グレード・ソリューションズ・リミテッドが開発した。UpSkill はオンラインで公開されており、タブレットでもアクセスできる。グリーン・グレードは、衛生、工場状態、効果的な管理も含め他のコースよりも 90%少ないコストでアクセスできると語っている。この学習プラットフォームは、コンプライアンスについての予備知識を必要とはしていない。ユーザーは自分の都合に合わせてコースにアクセスできるし、ガイダンスのためにカスタマー・ヘルプ・センターが用意されている。このコースが終了すると、参加者は試験を受け証明書が授与される。UpSkill プロジェクトは参加している工場に、倫理コンプライアンス学習に参加するよう求めている。24の工場で試験段階が終了すれば、UpSkillはこれから18ヶ月の間に300の工場で、少なくとも5人ずつのマネージャーを教育する計画を立てている。試験的プロジェクトの結果はこのプログラムの終わりに発表された。参加したほとんどのRMGマネージャーや工場オーナーはソフトウェアに満足していた。試験的コースは無料で公開されており、興味のある工場には来年の1月まで特別料金が用意されている。

12. アコード、防災マニュアル明示

わが国のアパレル工場の改善のため、アコードは特に防火装置を設置することと詳細なエンジニアリング評価(DEA)に関して、多くの条件を明示した。アコードのガイドラインのもとでは、衣料メーカーがアパレルユニットの安全欠陥を改善するためには、アコード指定のコンサルタント会社の認可が必要になる。コンサル会社はこれに関した分野で 5 年から 10 年のコンサルタントとエンジニアリングの経験を持たなくてはならない。そしてほとんど全ての衣料縫製工場の共通の必要条件である耐火ドアは承認保証された製作所からのものではない。アコードは承認されていないシールやラベルの付いた耐火ドアが市場に出回っている情報を得ていることに言及し、「リストに載っている 55 の耐火ドアサプライヤーとベンダーの名前をあげ、工場オーナーは取り付ける耐火ドアの確認をするためにアコードの援助を得ることができる」と語っている。

アコードのガイドラインを歓迎して、バングラデシュ衣料メーカー及び輸出業者協会(BGMEA)副会長 Md.シャヒドウラ・アジムは、「改善作業を行うために混乱を避けることができる」と語っている。アコードのマニュアルの中では、「建物のどの階にも二つの出口をつけ、500 人以上が働いてはならず、3 つ出口がある場合は 1000 人を超えてはならない。建物の出口のドアは複雑な鍵を使ってはならず、知識、道具、鍵がなくてもすぐに開けることのできるドアでなくてはならない。建物のどこにいても出口は 45m 以内のところになくなくてはならない。最長距離は 60m まで延長できるが、そこには完璧な自動火災探知機、ポータブル消火器そしてスタンドパイプシステムが基準に従って設置されていなければならない。自動スプリンクラーシステムそしてポータブル消火器が完全設置されているならば、その距離を 122m まで延長することができる。マニュアルでは 23m 以上の床面の高層ビルを建築する場合は自動スプリンクラーの設置が必要とされている。まだ査定されていない 2 階以上の建物はスプリンクラーシステムが完全に設置されていないなら、2000 m²を超えてはならない」と規定している。

13. ダッカで RMG 労働者、ストーカーを苦にして自殺

女性既製服労働者が、地元のストーカーより何度も攻撃され、それを苦にして自殺した。被害者は市内ダッキン・カンのサルダラパラ・モヒラ・カレッジに住むアフサナ・アクター・ラブリー 17 歳と判明した。ダッキン・カン警察署の副所長カムルール・ザマンは、「ラブリーはその地域の衣料縫製工場で働いていた。ファイサル、サラウッディンそしてサジョルを含む数名のストーカーたちが、彼女が工場に行く途中いつも邪魔をしていた。いつも罵声を浴びせたりレイプすると脅したりしていた。レイプを恐れ彼女は借りていた家で夜の間に自殺した。しかし、近所の人たちは朝になってその事件を知り警察に届けた。死体は検死のためダッカ・メディカル・カレッジに送られた。その後、ファイサル、サラウッディンそしてサジョルそしてそのほか 3 人は、ダッキン・カン警察署に逮捕され、婦女子児童保護法の下で訴えられた」と語った。

14. インド:トリプラ州からの送電線ルート決定

インドにあるトリプラの州都アガルタラで行われた会議で、ゴマティにあるパラタナの 726MW 火力発電所から 100MW の電力を送る 52km の送電線のルートが決定された。両国の合同調査チームはトリプラからバングラデシュを通してインドのメインランド に送電線を設置する可能性も探っている。トリプラからバングラデシュに入るポイントは、チームで場所調査をしてから決定される見込みであるが、送電塔のために居住地、森林そして、重要な設備は避けることにしている。スルヤマニナガール変電所からコナバンを通過してコミッラに送電される決定がされた。バングラデシュ・パワー・グリッド会社の役員チョードリ・アラムギールは、「3 つある最初のオプションは決定されたが、まだ微調整が必要である。そのために、現地に直接行く必要がある。現地に行って、交差する場所を決定する必要があるのだ。送電線はインドの中で 24km、バングラデシュ内で 27km 伸ばされることになるであろう。バングラデシュでは送電線が 1km 当たり 5000 万タカ掛かるだろう」と語った。

15. LPG 価格やや値下がり

液化石油ガス(LPG)の価格は、国際市場で低下の傾向のために、やや値下がりした。市内のドヤガンジの卸売業者ボディウール・アラムは、「クリーンヒート、ベトラガス、ボションダラ・ガス、トータル・ガスそしてジウムナ・ガスなど様々なガス会社の 12kgLPG シリンダーの価格が、今月 50 タカほど減少した。LPG シリンダーの価格は先月 1,550 タカから 1,600 タカであったが、国際市場価格が今月下がったため、現在 1,450 タカから 1,550 タカの間である」と語った。国際市場での値下がり傾向について、ペロレデック・エルビジ・リミテッドのマネージャー Md.サイドウール・イスラムは、「一般的に LPG の値段はその需要が少なくなるため夏に下がり、冬になれば需要も価格も高くなる」と話している。クリーンヒートやペロラガスのプラント出荷価格は現在 12kg のシリンダーで 1,350 タカ、ボションダラ・ガス 1,400 タカ、トータル・ガス 1,350 タカそしてジウムナ・ガス 1,282 タカである。LPG はブータンとプロパンを 70 対 30 の割合で混合したものである。バングラデシュの LPG の年間消費量は 100,000 トンである。

以上